

教育支援員

おの 直子

秋田県立秋田きらり支援学校教諭（兼）教育専門監。
令和8年度から教育支援員として派遣になりました。
駅伝観戦を兼ねた旅行でリフレッシュしています。

教育支援員

まきの ゆきえ
牧野 幸枝

秋田県立栗田支援学校教諭（兼）教育専門監。教育支援員の派遣は3年目になりました。週末のサッカー観戦でリフレッシュしています。



ご紹介

「てをつなぐ」は、秋田県立医療療育センター内で活躍する教育専門監の教育支援員としての活動を情報発信する紙面コンテンツです。

【問合せ/令和8年度編集担当】

秋田県立医療療育センター
発達障害者支援部（ふきのとう秋田）
TEL 018-826-8030
（平日9時～17時）

「教育支援員」は県の教育委員会から医療療育センターへ派遣された特別支援教育の専門家（教育専門監）です。

小野先生は週5日、牧野先生は週1日（火曜日）の勤務体制です。育成部、総合相談・医療療育連携部、発達障害者支援部（ふきのとう秋田）の職員と連携しながらお子さんたちやご家族に対する相談や各種勉強会等にて情報発信をしています。

小野：お子さんが、少しでも、安心して自分のもっている力を発揮しながら園生活や学校生活を過ごせるよう、できそうなことを一緒に考えていきます。医療や福祉のみなさんと連携して、自分自身も学びながら分かりやすく情報提供できるよう心掛けます。よろしくお願いします。

牧野：ふきのとう勤務以外の日は、地域の学校や園に出向いて子どもさんの様子を見たり、先生向けの研修会を行ったりすることが多いです。園や学校の実情も踏まえ、実際に「生かせる」支援の提案ができたらいなと思っています。

具体的な関わりについて 関係機関と連携しながら一緒に考えます

園生活や学校生活での心配事についてのご相談をお受けして、その後のお子さんへの支援につながるよう、ご希望に応じて、学校や教育委員会、地域の特別支援学校のセンター的機能への橋渡しも行っています。

今の学びの場でいいのかな…？
誰に、どうやって相談していくといいのかな？

学校や担任の先生に、配慮の相談をしたいけれど、伝えていいのか…。
どう伝えたらいいのか…。



相談→橋渡し
(学校、教育委員会、
地域の特別支援学校の
センター的機能
等へ)



【実際の取り組みの例をご紹介します】

(ふきのとう秋田 & 学校 & 地域の特別支援学校による連携)

保護者の方の了承のもと3機関でお子さんについて情報共有をし、できそうな支援について検討することを目的として、オンラインの相談を行いました。

保護者の方の悩みや思い、お子さんのご家庭での様子などを情報共有



ふきのとう秋田

特別支援学校

学校

学校でのお子さんの様子、保護者の方と共同している関わりなどを情報共有

<地域の特別支援学校（センター的機能の役割）からの感想>

連携を密にしながら、お子さんの苦手なことや不安な気持ちを分かち合い、一歩ずつ理解を深めながら話し合いを重ねることができました。何よりも「お子さんが安心して学校生活を過ごせること」を一番に、今、お子さん・学校・ご家庭それぞれができる具体的な一歩を、一緒に考えることができたと感じています。その後、先生方が安心できる環境づくりや関わり方を工夫してくださったことで、お子さんから「～もやってみたい!」という前向きな言葉が聞かれるようになりました。

医療療育センター内にポスターを掲示しています。

医療療育センターを利用しているお子さんやご家族からの就学や教育に関する疑問や質問等について、教育支援員が相談をお受けしています。

ポスターをセンター内に掲示し、教育支援員と相談ができることをお知らせしています。
相談を希望される方は、ご利用されている医療療育センター各部門職員までお声がけください。